

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

みえの子ども白書フォーラム ～子どもの心によりそうために～

日時 平成24年12月1日(土)
場所 三重県庁講堂(津市広明町13)

- 13:30 ごあいさつ 三重県知事 鈴木英敬
- 13:35 第1部 基調講演「みえの子ども白書が語ること」
講師 佐々木光明さん(神戸学院大学 教授)
- 14:25 第2部 こども会議発表「大人に伝えたい 子どもの気持ち」
小学生の部
中学生の部
高校生の部
- 15:00 第3部 パネルディスカッション
コーディネーター
石阪 督規さん 東京未来大学准教授
パネリスト(50音順)
安藤 大作さん 三重県PTA連合会 会長
佐々木 光明さん 神戸学院大学法学部教授
中野 和代さん 津市教育委員会 教育長
鈴木 英敬 三重県知事

主催 三重県
共催 三重県PTA連合会
後援 三重県高等学校PTA連合会、三重県小中学校長会、三重県高等学校長協会、三重県教職員組合、三重県児童館連絡協議会、三重県子ども会連合会、三重県学童保育連絡協議会、三重県社会福祉協議会、三重県児童養護施設協会、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団、NPO法人三重県子どもNPOサポートセンター、みえ次世代育成応援ネットワーク

開催のごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・

三重県知事 鈴木英敬

「みえの子ども白書」は、三重県子ども条例に基づいて、今年3月に県が初めて発行したものです。条例で定めているのは、全国的に見ても珍しい取組だといえます。私は、こども局（当時）から初めて白書の内容について報告を受けたとき、「こんなにええことが書いてあるなら、ぜひたくさんの人に知っていただきたい」と思い、フォーラムを開催することといたしました。



子ども条例と白書において大切な考え方があります。それは自己肯定感です。子どもたちが、自分を信じて、今の自分を肯定的にとらえることができる「自己肯定感」を高めていくことが、子どもたちの能力の開花につながっていくと考えています。白書は、約1万2千人の子どもと保護者、県民の方へのアンケート調査の結果です。そのなかで、自己肯定感の有無を知る目安である「自分のことが好きかどうか」という調査の結果は、「自分のことが好きじゃない」という子どもの割合が47.2%と、約半数の子どもたちが自己肯定感を持ってない状況である一方、「うちの子は自分のことが好きだと思う」保護者の割合が、小学校5年生の保護者で94.6%、中学校2年生では88.6%でした。大人と子どもの間に、大きな認識の差があることがわかります。

今日は、子どもたちの発表から、今の子どもたちの思いをみなさんに知っていただいて、このフォーラムが終わった直後から、子どもたちと一緒に歩いていける、そんなきっかけとなるフォーラムにしていきたいと思います。私たち大人全員が、当事者であるという意識を持って、「自分ごと」として、子どもたちのために汗をかいて、力を尽くしていくことが大事だと思います。ありがとうございました。